<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

建築物・土木構造物の施工に従事する全ての者が、高い意欲と先進の技術力をもって、お客様に対して安心・満足を提供すると共に地域格差社会への貢献をしておりますが、近年、環境問題や自然災害への対応を求められる役割も複雑多様化しています。こうした中、「顧客の満足、会社の満足」「会社の発展、地域の発展」「未来へ築こうパイオニアスピリット」を想い努力してまいります。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	新卒者や年齢を問わない中途の採用、定年後の再雇用及び女性や若手技術者の育成	新卒・中途採用 2023年度1名→2026年度2名 講習・研修参加費、資格取得等への補助 2023年度7名→2026年度10名
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	労働災害事故0の継続	労働災害発生件数 2023年度0件→2026年度まで0件 (継続)
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	事業継続計画(BCP)の策定	事業継続計画(BCP)の策定 2023年度 未実施→2026年度 策定

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

・熊本河川国道事務所、立野ダム工事事務所、阿蘇砂防事務所、熊本県、南阿蘇村と災害協定を締結しており、災害発生時には素早く活動できるよう体制を整えている

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	WEB会議導入により時間の効率化、移動時の燃料削減	2020年度→未実施 2023年度→実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	web会議導入→実施済 時間の効率化→一回につき最長40分 移動時の燃料削減→一回につき約10l削減	時間の効率化→年間480分の作業時間確保 移動時の燃料削減→約120lの削減
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地元新卒者や年齢を問わない中途の採用、及び女性や若手技術者の育成	毎年一名の新卒・中途採用の実施。定期的な講習や研修参加、資格取得の補助の実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	毎年一名以上の新卒・中途採用 新人研修を始め各研修や講習の参加、資格取得にかかる費用の補助	2021年度→新卒1名 中途1名 2022年度→新卒1名 中途4名 2023年度→新卒0名 中途1名
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	取り扱う産業及び一般廃棄物の中間処理の事業において、廃棄物の再資源化率の向上を目指し、持続可能な循環活動に努める	産業廃棄物の再資源化率 2020年度実績 97% 2023年度目標 98%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	廃棄物の受入時に細分化し、処理後はチップ材等に再資源化を行い、再利用しやすくし、最終処分場への排出を減らすことが出来ている。	2020年度実績→97% 2023年度実績→98%以上

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**